

都市計画・まちづくり

■ 8月30日：「第2回みやぎ復興住宅整備推進会議」開催！

住宅・まちづくりにかかわる関係者が、宮城県の復興まちづくり・住宅に関する情報を交換・共有しました。それらの情報を、県民と全国の皆様に発信していきます。

(資料等も公開しておりますのでURLをご参照ください。
http://www.pref.miyagi.jp/fukujuu/miyagisuishin_gai2.htm)

■ 9月10日：「女川町荒立・陸上競技場跡地被災市街地復興土地地区画整理事業」事業認可書交付式開催！

今年の3月に女川町被災市街地復興土地地区画整理事業(226.4ha)が復興整備事業として計画に位置づけられてから約半年、同町荒立(あらだて)地区と陸上競技場跡地地区について、事業認可を行いました。荒立地区は、高台を造成して防災集団移転事業にかかる住宅団地を64戸整備し、陸上競技場跡地地区には、災害公営住宅200戸分の用地を整備します。



▲位置図

▲橋本土木部長から東野 女川副町長へ認可書が交付されました

○県内の防災集団移転促進事業と土地地区画整理事業の進捗状況について

防災集団移転促進事業：12市町185地区のうち約62%の地区において計画書が国土交通大臣に同意済みであり、年度内には、全地区で計画が同意予定です。すでに岩沼市では、造成工事に着手しており、順次、復興住宅などの建築工事に着手します。

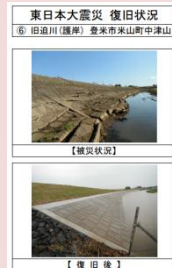
土地地区画整理事業：6市町9地区において、都市計画決定がなされており、防集集団移転促進事業と同様、年度内には100%になります。すでに女川町では工事着手の認可をしており、他の全ての地区においても、平成26年度までには造成工事着手を目指します。

見える復興・見せる復興

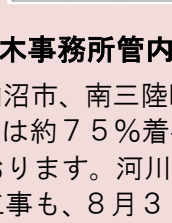
■ 8月3～16日：「東日本大震災」と「水害から命を守る治水対策」パネル展開催



▲パネル展の様子



【被災後】



【復興後】

登米市イオンタウン佐沼店のスペースをお借りして、登米地域の復旧状況、復旧計画についてのパネルと、宮城県の水害と治水対策の歴史やハザードマップ等のソフト対策を紹介したパネルを公開しました。(詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmbk/topics/2012/20120803panel-ex.htm>)

▲パネル例 旧迫川(護岸)

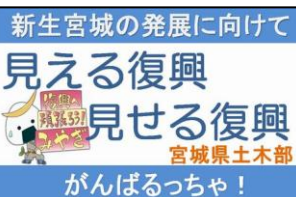


▲大島線(県道208号)着工前と復旧後

■ 9月3日：気仙沼土木事務所管内の復旧・復興状況を公開！

気仙沼土木管内(気仙沼市、南三陸町)の土木施設の被災箇所数については、復旧事業は約75%着手しており、そのうち約33%の工事が完了しております。河川・海岸、港湾施設等、莫大な事業費がかかる復旧工事も、8月31日に着手した戸倉海岸の災害復旧工事を皮切り着実に進めて参ります。

(そのほか、気仙沼土木管内の復旧状況について詳細情報を公開しておりますので詳しくはURLをご参照ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/ks-doboku/kikaku/hukkoudayori/hukkoudayori-1.pdf>)



○記事に関する問い合わせ
 宮城県土木部土木総務課企画調整班
 H P : <http://www.pref.miyagi.jp/dobokusom/>
 T E L : 022-211-3108 E-mail: dobokgk1@pref.miyagi.jp

(H24.9.13 作成)

宮城県土木部復興だより【第4号】

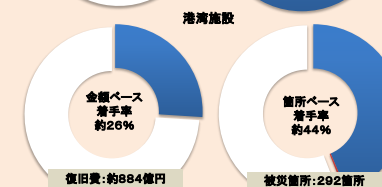
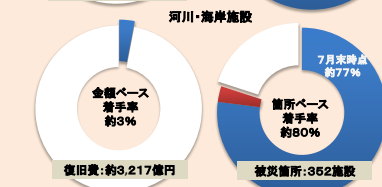
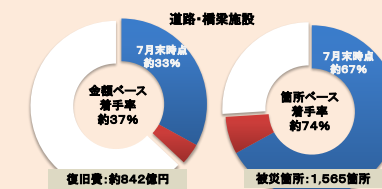
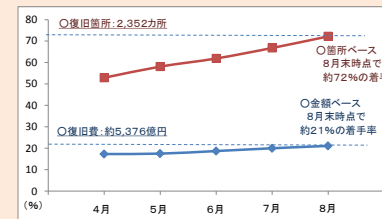
復旧・復興の最新ニュースをお届けします！
 <平成24年9月13日現在>

全体・防災

■ 8月末現在 復旧工事の進捗状況！

公共土木施設の着手率は金額ベースで約21% (前月比+1%)、箇所ベースで約7.2% (前月比+5%)となりました。

県内公共土木施設 着手率の推移



▲施設単位での着手率
 ※青：7月末時点での着手率 赤：8月分の増加量

※応急工事、本工事に着手した箇所の割合を箇所ベースの着手率、予定工事費に対する割合を金額ベースの着手率としています。
 (県全体の情報はURLを参照ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/seisaku/shinchokuzyo/ukyuu/240911shinchokuzyoukyou.pdf>)

■ 8月下旬：来年度の自治体派遣職員の継続要請を実施し、併せて東日本大震災からの現状を報告しました



宮城県土木部は、復旧・復興事業の業務量増大に対応するため、全国28都道府県から100名以上の派遣職員の応援を頂いております。訪問に際し、これまでの応援に対する御礼と、来年度もマンパワー不足が見込まれることから引き続き派遣して頂けるようお願いしました。また、3.11伝承・減災プロジェクトの一環として、東日本大震災からの復旧・復興状況の報告と、南海トラフ大地震など迫り来る大災害への備えとして、今回の震災で得た教訓を伝えました。

▲高知県庁にて橋本土木部長の講話(沢山の高知県職員の皆様にお集まり頂きました)

■ 9月10日：「震災復興に伴う盛土材連絡調整会議」発足！

復旧・復興事業では、約3000万m³以上の盛土材が必要と想定されます。その安定確保に向けて、県及び沿岸15市町からなる連絡調整会議を設置し、土取場の確保や広域的な需給調整を行います。

会議には関係者約50名が集まりました▶

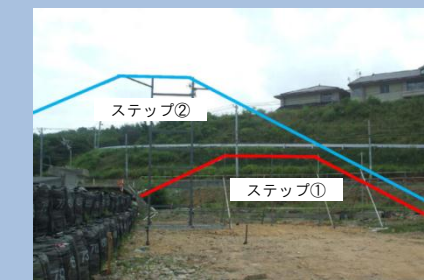


河川・海岸

■ 8月31日：「戸倉海岸災害復旧工事 着工式」開催！

東日本大震災により被災した気仙沼土木事務所管内(気仙沼市、南三陸町)の海岸において、第1号となる本復旧工事がスタートします。復旧延長は600m以上に及び、高さはT.P+8.7mであり大津波から命を守ります。工事は平成27年度完成を目途に、ステップ1~2の段階を踏んで進めます。(復旧断面図参照)。

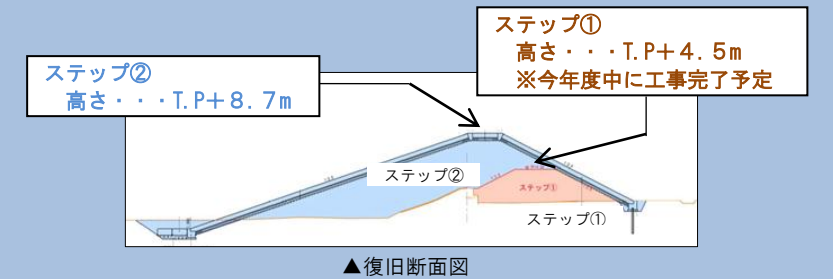
着工式には関係者約50名が参列し、被災者を悼む黙祷の後に工事の安全と早期完成を祈願し鉄入りが執り行われました。



▲護岸の丁張り



▲鉄入れの様子



▲復旧断面図

(詳しくはURLを参照ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/kasen/pdf/tokura.pdf>
<http://www.pref.miyagi.jp/ks-doboku/kikaku/hukkoudayori/hukkoudayori-1.pdf>)

道路

■ 8月8日：「春日パーキングエリア完成式」開催！

仙台松島道路の利府中IC～松島海岸IC間に、三陸自動車道では初となる本格的なパーキングエリア（トイレ、休憩所、コンビニ、軽食レストランが上り線、下り線ともに設置）が建設され、この度完成式を盛大に開催しました。仙台松島道路は、四車線化が進み利便性が向上しており、春日PA（愛称：むすび丸春日PA）新設によりさらに快適になります。

震災時に命の道として活躍した三陸自動車道の強化と、沿岸被災地の早期復興を願います。



▲式典の様子。むすび丸も大喜び！



▲春日PA上り線 宮城県土木部のパネル展示スペースが設置しております。



▲春日PA下り線 宮城県の文化財展示室があります。興味のある方は是非。

（詳しくは URL をご参照ください。

http://www.pref.miyagi.jp/road/douro_kikaku/120808sendaimatsushima-kasugapa/120808sendaimatsushima-kasugapa.html

（仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会スタッフブログにて「むすび丸お仕事日記」も更新中。
<http://blog.goo.ne.jp/musubimaru/e/2d483b5514098fa74bc47a3f32c5f4b>）

■ 9月8日：三陸沿岸道路「石巻北インターチェンジ」及び「県道石巻北インター線」着工式開催！

県道石巻北インター線は、国道45号線から石巻北インターチェンジへの重要なアクセス道路として、石巻ICと一体となって整備を進めています。津波で被災した周辺地区の交通利便性の向上や災害時における交通網の強化と、被災地復興へつながら一歩として動き出します。



▲鍬入れの様子



▲航空写真

（詳しくは URL をご参照ください。

http://www.pref.miyagi.jp/road/douro_kikaku/120908ishinomakita-ic/120908ishinomakita-ic.html

空港

■ 10月18日：「仙台～上海線（中国東方航空）」が新規就航します！

仙台空港国際定期便の新規就航は、平成19年12月以来、約5年ぶりとなります。これにより中国国際航空による「仙台～上海/北京線」とあわせて、仙台空港から上海へは週6往復が運航され、国際定期便は、震災前の週20往復を上回る週23往復が運航されます。

おでかけには、ますます便利になる仙台空港とアクセス鉄道をぜひご利用ください。

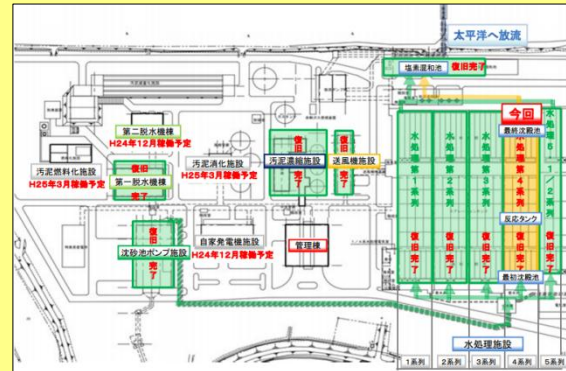
下水施設

■ 7月31日：県南浄化センター水処理第4系列の処理開始！

これまで段階的な復旧を進め、このたび同センター内の水処理施設についてはすべての復旧が完了しました。年内には、自家発電施設や第二脱水機棟が復旧予定で、順次稼働していく予定です。



▲水処理 第4系列



▲県南センター平面図

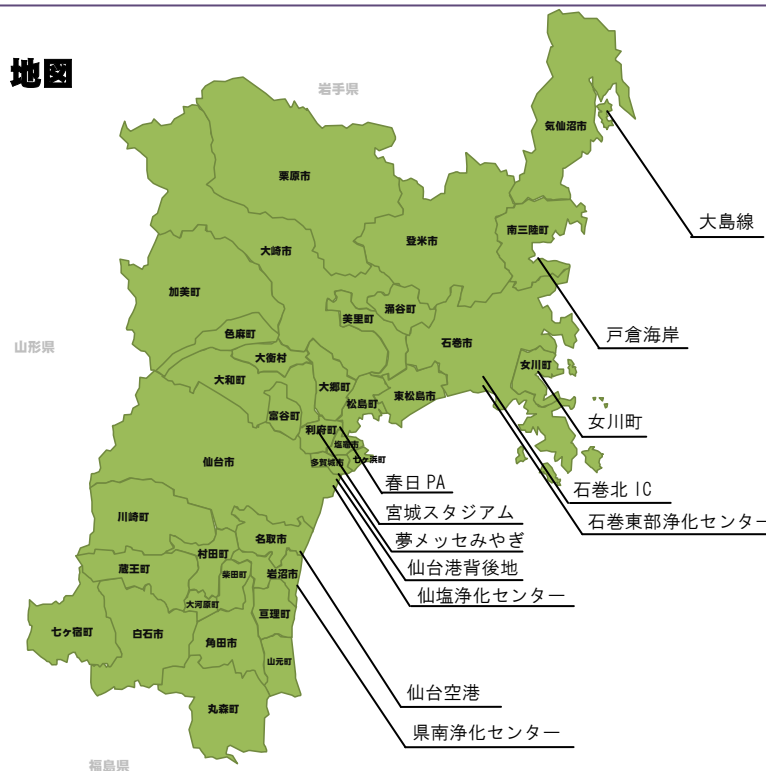
（詳しくは URL をご参照ください。

http://www.pref.miyagi.jp/doboku/110311dbk_taiou/kennan_saisei_dayori04.pdf

■ 予定：9月18日に石巻東部浄化センターで下水処理開始式を開催

震災で被災した同センターは、これまで簡易な生物処理を行ってきましたが、水処理施設の第1系列復旧に伴い震災前と同様の生物処理を開始することとなりました。

宮城県 地図



建築・県有施設

■ 県有大型施設の復旧が進んでいます！

○ 6月末：夢メッセみやぎ 復旧完了

東北最大級の屋内展示場で様々なイベントに利用される夢メッセみやぎは、震災の大津波（床から3mの高さ）により1階の電気・機械設備が全損し、建物の内外装にも甚大な被害が発生しました。津波被害を教訓に、各電気・設備室の扉を外開きにして（外開きの部屋は浸水被害が少なかったため）、設備機器の基礎や架台をかさ上げしました。



▲被災直後（展示棟コンコース）



▲夢メッセみやぎ 完全復旧



◀ 7月20日から29日には、夢メッセみやぎの復旧後初となる展示会として、「とうほく自動車フェスタ」が開催され会場は大いに賑わいました。

（工事の概要については URL を参照ください。

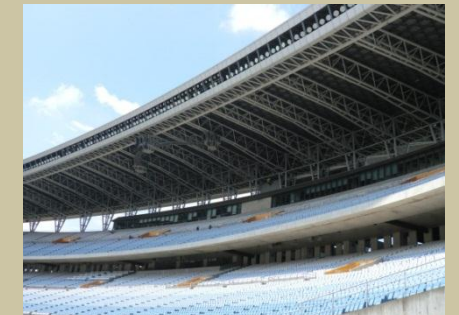
<http://www.pref.miyagi.jp/eizen/saigai/03%20hukkyuu-jyoukyou/kouji-yume.pdf>

○ 7月中旬：宮城スタジアム（グランディ・21宮城県総合運動公園）復旧完了

宮城スタジアムは、地震により屋根が破損しておりましたが、約一年の工期をもって改修工事が完了しました。8月19日、22日、27日には、復興支援イベントとして、サッカー U-20（20歳以下）女子ワールドカップの試合が実施されるなど、一般利用が開始されています。



▲スタジアム屋根に仮設柱を設置



▲スタジアム屋根改修完了

屋根改修工事は、損傷部分の拡大防止及び破損箇所を元の位置に戻すために仮設柱を設置して、屋根をジャッキアップするなど大がかりなものとなりました。

（工事の概要については URL をご参照ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/eizen/saigai/03%20hukkyuu-jyoukyou/kouji-miyasuta.pdf>